

## 林業復興・環境負荷低減を目指した高級割箸の開発 ストーリーとデザインで顧客の心をつかむ

高級スギ割箸の製造・販売を主業として創業した企業。現在は、スギ枕、おがぬいぐるみ、ヒノキ鉛筆など、地域資源を活用した新製品の製造・販売も行う。原木から最終製品までを一貫製造し、付加価値をつけて直接販売している。材料となるスギ・ヒノキについては、全量を周囲の山林から産出する間伐材の使用にこだわり、持続可能な林業の復興支援を目指す。仕入れた丸太からゴミを一切出さない、木材の乾燥に石油系燃料を一切使わないなど、徹底した環境負荷低減にも取り組んでいる。

所在地 福島県いわき市田人町南大平字坪内95-1

電話/FAX 0246-65-0848 / 050-6861-0164

URL <https://iwaki-takahashi.biz/>

代表者 代表取締役 高橋 正行

設立 2010年

資本金 2,240万円

従業員数 7人



### 人の感性に訴えるストーリーと美しいデザインの高付加価値な商品群

同社は、自社周囲で産する間伐材を用いた商品開発に特化している。東日本大震災からの復興を願い被災三県産の材料を使用した「三県復興 希望のかけ箸」は、最高級の九寸杉柎目の利久箸。天然杉チップを使用した「眠り杉枕」とともにグッドデザイン賞に輝く。飲食業にはほぼ出荷せず、BtoBでのノベルティ・贈答品・記念品用途で販売してきた。他にも、惜しまれながら廃校となった小学校で製造する「旧校鉛筆」など、開発の意図・経緯などのストーリーと美しい造形で、顧客を魅了し需要を開拓・獲得している。



一膳一膳心を込めて 「希望のかけ箸」

### SDGsの考えにマッチする、さまざまなサステナブルな取組

従業員は、全員が地元雇用である。仕入れた原木は、①製品材料、②オガ粉の一部は近隣の畜産業者の敷き藁代わり、③材料を乾燥させるための薪ボイラーの燃料のいずれかに使用し、ゴミは一切出さない。例えば「杉割り箸」の強度検査不合格品は、約500膳分を6mm角のチップに裁断して「眠り杉枕」の中材に使う。間伐材の製造過程で必ず発生するオガ粉は、中材として活用するためにおがぬいぐるみを開発し、「おがべこ」「木粉さまプレミアム」などの製品として販売している。



天然杉チップが心地よい 「眠り杉枕」

### 素敵なパートナーを探して、異業種連携により魅力的商品を開発

各商品は、それぞれに相応しい異業種企業を見つけて積極的に連携することにより、付加価値のさらなる向上を図って実現してきた。例えば「眠り杉枕」の中袋は、老舗寝具メーカーと開発した。「おがぬいぐるみ」では、ぬいぐるみメーカーとタグを組んだ。「旧校鉛筆」は、国内に鉛筆製造機メーカーがすでに存在しなかったことから、割り箸製造機メーカーと製造機を開発して取り組んだ。さらに、鉛筆の芯の製造会社を探して、全体として純国産の鉛筆とすることにより、最終商品の魅力を高めた。



人口減少で廃校した小学校を工場に